

目次

- ◆ 明日も学校へ来たくなる生活科「先生明日も来るからね」……………丹伊田弓子 1

特集Ⅰ 授業をどう変える・どう変わる～新学習指導要領の視点

- ◆ 生活科で新設された内容「(8)生活や出来事の交流」が意味するもの……………加納誠司・木村吉彦 4
- ◆ 生活科における「安全」とその授業づくり……………岡野 雅一 12
- ◆ 「科学的な見方・考え方の基礎を養う」視点からみた生活科の授業改善……………小川 哲男 20
 ー遊びや遊びに使う物を工夫して作る「製作活動」を中心にー
- ◆ 総合的な学習の時間における協同的な学び……………藤本 勇二 28
- ◆ 総合的な学習の時間と各教科等との関連……………野口 徹 36
 ークロス・カリキュラー・アプローチによるカリキュラム開発ー

特集Ⅱ 校種間連携と学びと育ちの連続性

- ◆ 「子どもの学びと育ちの連続性」をどうとらえ、どう確保するのか?……………布谷 光俊 44
 ーその背景と原理、具体的な手立て等について考えるー
- ◆ 【実践研究報告】奈良女子大学附属校園（幼・小・中等）における
 「15年間にわたり事物認識とその表現形成の徹底化を通して
 独創的で『ねばり強い』思考能力を育成する教育課程の研究開発」…小幡 肇 52
 ー一年次・二年次報告書よりー

自由稿

- ◆ 保育所保育における評価……………伊能 恵子 62
 ーエピソード記述の改善を求めてー
- ◆ 体験から言葉を育てる教師の支援の在り方……………秦 啓子 70
 ー幼小接続期における生活科の気づきに注目してー
- ◆ 子どもの探究活動へと繋がる言語活動の実践的研究……………木村 学 78
 ー大楽光明教諭による学級通信の分析を手がかりにー

- ◆ 気付きの質を高める生活科学習指導のあり方 ……………井口 司 86
 -内容分析と授業設計を中心に-
- ◆ 子どもの時間意識の分析を通じた気付きの質的高まりの研究(2)……………齊藤 和貴 94
 -成長単元『未来に向かって自分探検』(2年生)を通して-
- ◆ 学校と家庭との連携を支援するための授業デザイン ……………黒田秀子・竹中真希子・稲垣成哲 102
 -カメラ付き携帯電話を活用した生活科での親子学習-
- ◆ 「生き方」を見直す話し合いを支える教師のはたらき ……………尾島良幸・松本謙一 110
 -第4学年 総合「道は生きている」の実践を手がかりに-
- ◆ プロジェクトの企画段階における子どもたちの関与の相違が
 その後の課題解決活動に及ぼす影響……………市川 洋子 118
 -旭・学び助成金(旭3S)採択プロジェクトにおける子どもの意識調査を通して-

研究奨励賞受賞論文

- ◆ 生活科栽培活動における気付きの生成と展開……………木村 光男 126
 -「思考を経た気付き」に視点をあてて-
- ◆ 子どもの時間意識の分析を通じた気付きの質的高まりの研究……………齊藤和貴・小林宏己 127
 -植物栽培単元『春にさくお花を育てよう』(1年生)を通して-

日本生活科・総合的学習教育学会会則……………	128
日本生活科・総合的学習教育学会第6期役員・理事……………	129
学会だより……………	130
学会誌編集委員会投稿および編集規定……………	131
編集後記……………	132
第18回全国大会 鹿児島大会案内……………	133

写真提供 加納誠司(右下)・藤本勇二(左上)
 (掲載論文で紹介された授業風景)